

平成 14 年薬事工業生産動態統計年報の概要

平成 15 年 10 月 23 日
医 政 局 経 濟 課

今般、平成 14 年薬事工業生産動態統計年報の概要についてとりまとめたので、
お知らせします。

平 成 14 年

薬事工業生産動態統計年報の概要

厚 生 労 働 省 医 政 局

担当係：経 済 課 調 査 統 計 係
電 話：03-5253-1111(内線：2532)
03-3595-2421(ダイヤルイン)

目 次

調査の概要	1
結果の概要	5
I 医薬品	5
1. 医薬品の生産状況	5
2. 医薬品の薬効分類別生産状況	12
(1) 循環器官用薬	12
(2) 中枢神経系用薬	12
(3) その他の代謝性医薬品	13
(4) 消化器官用薬	14
(5) 抗生物質製剤	15
(6) 外皮用薬	15
(7) 血液・体液用薬	16
(8) 生物学的製剤	17
(9) ビタミン剤	17
(10) アレルギー用薬	18
(11) 感覚器官用薬	18
(12) 化学療法剤	19
(13) 滋養強壮薬	19
(14) 体外診断用医薬品	20
(15) 腫瘍用薬	20
3. 医薬品の剤型分類、用途及び製造区分別生産状況	21
(1) 剤型分類	21
(2) 用途区分	21
(3) 製造区分	26
4. 医薬品の地域別生産金額	26
5. 医薬品の従業者規模別及び生産規模別構成	31
(1) 従業者規模別構成	31
(2) 生産規模別構成	32
6. 実生産医薬品の生産状況	33
7. 医薬品の輸出入状況	35
(1) 輸 出	36
(2) 輸 入	39
II 衛生材料	42
1. 衛生材料の生産状況	42
2. 衛生材料の地域別生産状況	43
III 医療用具	44
1. 医療用具の生産状況	44
2. 医療用具の地域別生産状況	46
3. 医療用具の輸出入状況	47
(1) 輸 出	47
(2) 輸 入	49

IV 医薬部外品	52
1. 医薬部外品の生産状況	52
2. 医薬部外品の地域別生産状況	54

(統計表)

○ 医薬品業効分類別用途区分別出荷金額	55
---------------------	-------	----

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、医薬品、医薬部外品、衛生材料及び医療用具の生産（輸入）等の実態を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の対象

薬事法の規定により、医薬品、医薬部外品又は医療用具の製造業（輸入販売業）の許可を受けて、医薬品、医薬部外品及び医療用具を製造（輸入）する事業所。ただし、次の業種に属する事業所は調査対象から除外している。

- (1) 薬局開設者が当該薬局の設備及び器具をもって行う医薬品の製造業
- (2) コンドーム及び視力補正用レンズの製造業であって小分けのみを行うもの
- (3) 脱脂綿又はガーゼの製造業であって小分けのみを行うもの及び生理処理用品（脱脂綿のみからなるものを除く）の製造業又は輸入販売業であって大判製品のみの製造又は輸入を行うもの

3. 調査の期間

平成14年1月1日から同年12月31日

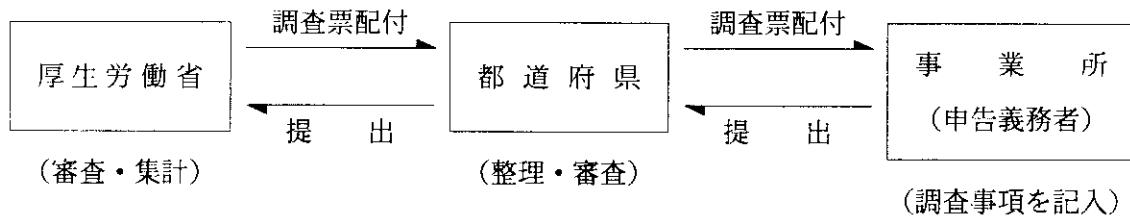
4. 調査事項

医薬品、医療部外品、衛生材料及び医療用具の生産、輸入、出荷輸出及び在庫の数量及び金額等。

上記のほか、医薬品を製造（輸入）する事業所は従業者（臨時従業者を含む）数。脱脂綿を製造（輸入）する事業所は原料の受入、引渡、製造工程投入及び在庫の数量。

5. 調査の方法及び報告義務

厚生労働省が都道府県を経由して申告義務者に配付する調査票用紙により行う。



6. 結果の集計

厚生労働省医政局において行った。

7. 利用上の注意

(1) 表章記号

－：単位未満のもの又は実績がないもの。

◇：分類の追加、改定があったため金額、数量が把握できないものです。

①医療用具……平成14年1月調査分より分類コードを一部改定

(5分類変更、18分類追加)

②医薬部外品……平成14年1月調査分より特掲医薬部外品の品目を追加、変更

(2) 地域別

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東越静：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡

東海北陸：富山、石川、岐阜、愛知、三重

近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国：徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(3) 用語の説明

生産金額：各製造所において調査期間に製造された最終製品（衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産金額です。この金額は生産数量を製造業者販売価格で評価した価格に消費税額を加えた価格です。

生産数量：各製造所において調査期間に製造された最終製品（実生産医薬品にあっては医薬品の原末及び原液、衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産数量です。この場合において国家検定品はその合格数量をもって生産数量としています。

出荷金額：調査期間において自製造所（自製造所で管理している倉庫を含む）以外の他の場所への出荷（販売による出荷、同一企業体内の他の製造所、営業所、他の場所にある倉庫への出荷等）がなされた金額です。この金額は生産金額の評価方法に準じ評価した金額です。

製造所数（輸入販売営業所数）：調査期間において最終製品（衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産（輸入）、出荷又は月末在庫に異動があった製造所（輸入販売営業所）の数です。（月平均）

医療用医薬品：医師若しくは歯科医師によって使用され、又はこれらの者の処方せん若しくは指示によって使用されることを目的として供給される医薬品です。

その他の医薬品：医療用医薬品以外の医薬品です。

一般用医薬品：その他の医薬品のうち、配置用家庭薬以外の医薬品です。

配置用家庭薬：その他の医薬品のうち、主として配置用家庭薬に用いることを目的として供給される医薬品です。

輸入※：主として輸入された医薬品（原末、原液、バルク製品及び製剤原料を含む）から製造された医薬品です。

一貫製造：製造（小分けのみによる場合を除く）のうち、委託製造以外のものです。

委託製造：医薬品の製造工程の一部を他に委託した製造をいいます。

小分け：医薬品の品質を変えることなく分割充填する製造行為をいいます。

常用従業者：調査月の月末現在において、実際に医薬品の生産（輸入）、管理、その他の業務に常時従事する従業者です。たとえ、重役、理事者であっても医薬品製造（輸入）に関係ある一定の職務に従事する者は常用従業者となります。（月平均）

臨時従業者：1ヶ月以内の期限を限って雇用される者及び日々雇用される者です。

実生産医薬品：原末及び原液のうち、生産数量が多量のもの又は繁用されているもの等について、品目ごとに生産（輸入）数量、出荷数量及び月末在庫数量を把握するため選定された医薬品です。

大判製品：原綿又は原反等から製造されたものであって、精錬漂白、乾燥作業等をなし、小分け包装を施し得る状態にあるものです。

結果の概要

I 医薬品

平成14年における医薬品最終製品の国内での生産金額は6兆4,893億円、外国からの最終製品の輸入金額は7,645億円で、合計金額は7兆2,538億円であった。

これに対し、国内への出荷金額は7兆1,739億円、外国への輸出金額は801億円であった。一方12月末現在における在庫金額は、4,197億円であり、国内出荷金額の17日分に相当する。

1. 医薬品の生産状況

(1) 平成14年における医薬品最終製品の生産金額は6兆4,893億円で前年の6兆5,043億円と比較すると、150億円(0.2%)の減少となっている。過去10年の推移をみると、平成5年の2.2%の成長から順調な伸びを示していたが、8年には1.1%のマイナス成長となった。9年は0.8%と横ばいであり、10年は5.0%の減少、11年は7.7%の増加と非常に大きく変動した。12年は再び1.7%の減少となり、13年は5.2%と増加したもの、14年は0.2%の減少となった。このように、薬価基準改定が実施された年は、生産金額がマイナス成長若しくは低い成長となっている。なお、薬価基準改定は、薬剤費ベースで平成5年以降では、平成6年(-6.6%)、8年(-6.8%)、9年(-4.4%、この他消費税対応分+1.4%)、10年(-9.7%)、12年(-7.0%)、14年(-6.3%)に実施されている。

これを用途区分別生産金額でみると医療用医薬品が5兆7,299億円で全体の88.3%を占め、その他の医薬品の生産金額は7,594億円で11.7%を占めている。

(2) 最近10年の医薬品生産金額の推移は、第1表に示すとおりである。

(3) 医薬品薬効大分類別生産金額は第2表のほか各表に示すとおりであり、上位10分類で4兆7,026億円、72.5%を占めている。

(4) 年間250億円以上の医薬品薬効中分類別生産金額は第3表に示すとおりである。

このうち、第1位の血圧降下剤の生産金額は4,054億円であり、医薬品総生産額に占める構成割合は6.2%であり、前年比で12.9%増加した。

平成14年における医薬品薬効大分類別生産金額上位10分類の平成5年から平成14年までの10年間の推移は第4表に示すとおりである。

第1表 医薬品生産金額の推移

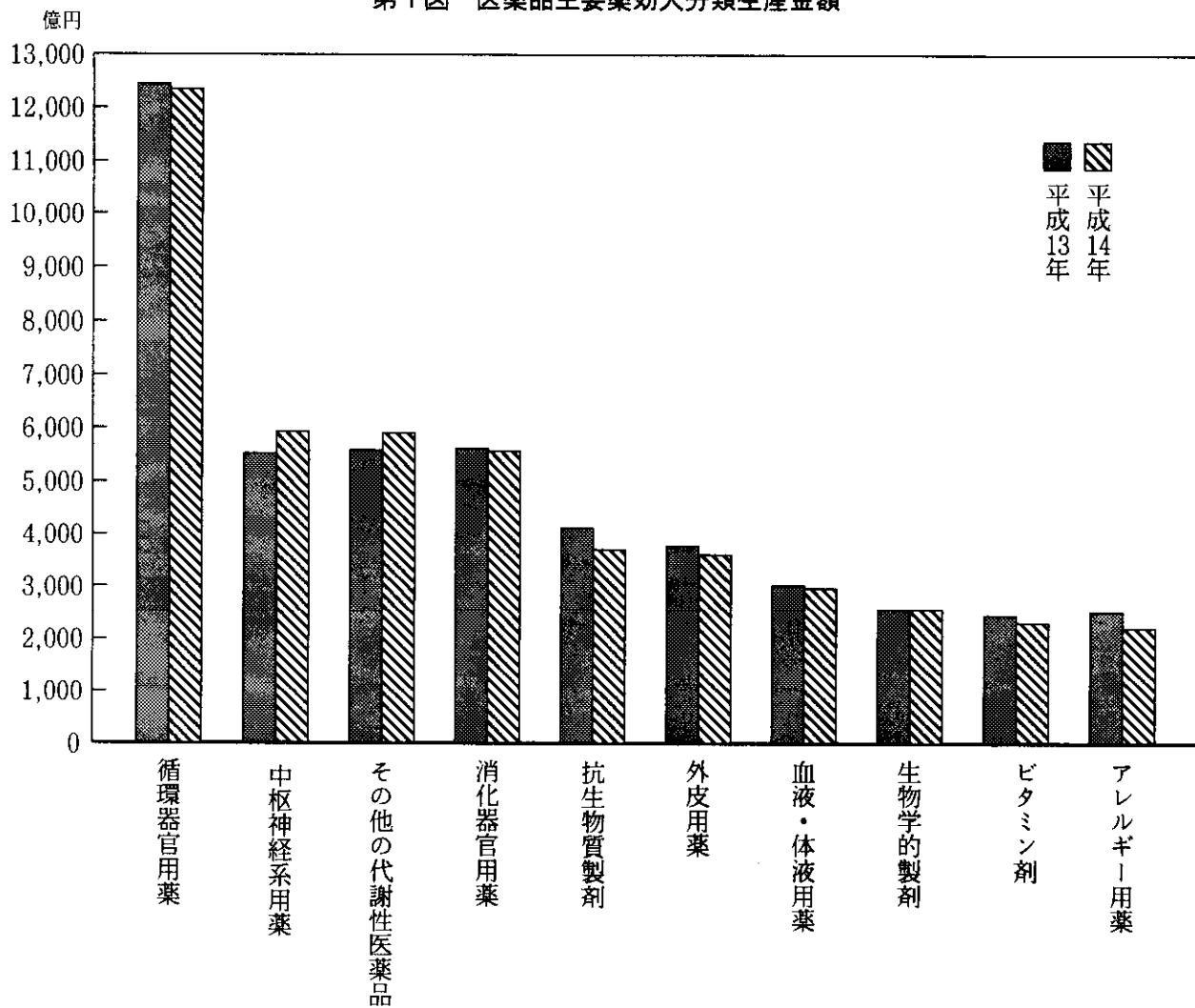
年	生産			医療用医薬品			その他の医薬品			一般用医薬品			配置用家庭薬		
	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
平成5年	5,695,068	2.2	100.0	4,819,341	3.0	84.6	875,727	-2.0	15.4	815,764	-2.1	14.3	59,962	-1.0	1.1
平成6年	5,750,322	1.0	100.0	4,881,157	1.3	84.9	869,165	-0.7	15.1	808,677	-0.9	14.1	60,489	0.9	1.1
平成7年	6,168,062	7.3	100.0	5,243,575	7.4	85.0	924,487	6.4	15.0	858,228	6.1	13.9	66,259	9.5	1.1
平成8年	6,100,046	-1.1	100.0	5,156,439	-1.7	84.5	943,606	2.1	15.5	877,822	2.3	14.4	65,785	-0.7	1.1
平成9年	6,147,833	0.8	100.0	5,187,140	0.6	84.4	960,693	1.8	15.6	892,148	1.6	14.5	68,545	4.2	1.1
平成10年	5,842,096	-5.0	100.0	4,936,520	-4.8	84.5	905,577	-5.7	15.5	839,150	-5.9	14.4	66,426	-3.1	1.1
平成11年	6,290,023	7.7	100.0	5,438,173	10.2	86.5	851,850	-5.9	13.5	793,026	-5.5	12.6	58,824	-11.4	0.9
平成12年	6,182,631	-1.7	100.0	5,376,330	-1.1	87.0	806,301	-5.3	13.0	752,175	-5.2	12.2	54,126	-8.0	0.9
平成13年	6,504,318	5.2	100.0	5,728,874	6.6	88.1	775,443	-3.8	11.9	721,401	-4.1	11.1	54,042	-0.2	0.8
平成14年	6,489,278	-0.2	100.0	5,729,882	0.0	88.3	759,397	-2.1	11.7	707,686	-1.9	10.9	51,711	-4.3	0.8

第2表 医薬品薬効大分類別生産金額

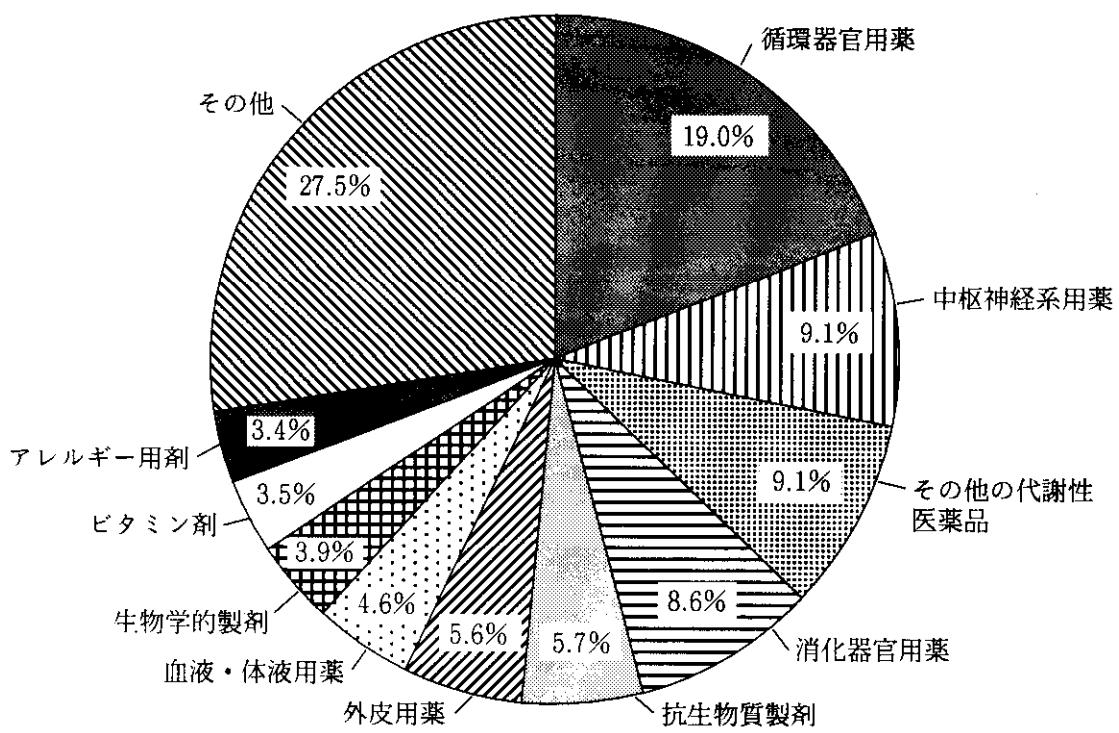
順位	薬効大分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		平成14年	平成13年	増減額	比率	平成14年	平成13年
		百万円	百万円	百万円	%	%	%
	総 数	6,489,278	6,504,318	-15,039	-0.2	100.0	100.0
1	循環器官用薬	1,234,320	1,243,763	-9,443	-0.8	19.0	19.1
2	中枢神経系用薬	592,072	551,394	40,677	7.4	9.1	8.5
3	その他の代謝性医薬品	589,341	557,644	31,697	5.7	9.1	8.6
4	消化器官用薬	555,792	560,796	-5,004	-0.9	8.6	8.6
5	抗生物質製剤	369,764	410,413	-40,650	-9.9	5.7	6.3
6	外皮用薬	360,797	376,230	-15,433	-4.1	5.6	5.8
7	血液・体液用薬	295,740	301,339	-5,598	-1.9	4.6	4.6
8	生物学的製剤	254,679	255,401	-722	-0.3	3.9	3.9
9	ビタミン剤	229,776	243,395	-13,620	-5.6	3.5	3.7
10	アレルギー用薬	220,340	250,342	-30,002	-12.0	3.4	3.8
11	感覚器官用薬	214,123	234,510	-20,387	-8.7	3.3	3.6
12	化学療法剤	186,637	167,401	19,236	11.5	2.9	2.6
13	滋養強壮薬	182,027	184,301	-2,274	-1.2	2.8	2.8
14	体外診断用医薬品	177,933	169,416	8,517	5.0	2.7	2.6
15	腫瘍用薬	167,748	153,155	14,592	9.5	2.6	2.4
16	呼吸器官用薬	160,197	155,873	4,324	2.8	2.5	2.4
17	ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	142,237	136,273	5,964	4.4	2.2	2.1
18	泌尿生殖器官及び肛門用薬	120,646	119,444	1,202	1.0	1.9	1.8
19	漢方製剤	101,061	98,364	2,696	2.7	1.6	1.5
20	診断用薬(体外診断用医薬品を除く。)	70,213	70,087	126	0.2	1.1	1.1
21	人工透析用薬	56,549	55,298	1,251	2.3	0.9	0.9
22	末梢神経系用薬	44,379	46,899	-2,520	-5.4	0.7	0.7
23	放射性医薬品	34,267	34,505	-239	-0.7	0.5	0.5
24	公衆衛生用薬	33,657	33,439	218	0.7	0.5	0.5
25	アルカロイド系麻薬(天然麻薬)	25,274	23,525	1,750	7.4	0.4	0.4
	その他	69,712	71,111	-1,399	-2.0	1.1	1.1

(注) 医薬品薬効大分類の順位は、平成14年の生産金額の順による。

第1図 医薬品主要薬効大分類生産金額



第2図 医薬品薬効大分類別生産金額割合 (単位: %)



第3表 医薬品薬効中分類別生産金額

順位	薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		14年	13年	増減額	比	14年	13年
	総数	百万円 6,489,278	百万円 6,504,318	% -15039	-0.2	100.0	100.0
1	血圧降下剤	405,433	359,202	46,231	12.9	6.2	5.5
2	他に分類されない代謝性医薬品	339,123	316,992	22,131	7.0	5.2	4.9
3	消化性潰瘍用剤	337,995	339,546	-1,551	-0.5	5.2	5.2
4	血管拡張剤	315,521	317,594	-2,072	-0.7	4.9	4.9
5	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	285,186	330,033	-44,847	-13.6	4.4	5.1
6	高脂血症用剤	269,531	287,861	-18,330	-6.4	4.2	4.4
7	鎮痛、鎮痙、収斂、消炎剤	218,773	227,344	-8,570	-3.8	3.4	3.5
8	その他のアレルギー用薬	201,503	229,113	-27,610	-12.1	3.1	3.5
9	その他の血液・体液用薬	190,282	196,894	-6,612	-3.4	2.9	3.0
10	血液製剤類	176,035	175,972	64	0.0	2.7	2.7
11	眼科用剤	170,233	185,754	-15,521	-8.4	2.6	2.9
12	解熱鎮痛消炎剤	152,111	161,180	-9,069	-5.6	2.3	2.5
13	糖尿病用剤	107,336	94,263	13,073	13.9	1.7	1.4
14	その他の循環器官用薬	105,431	117,833	-12,402	-10.5	1.6	1.8
15	精神神経用剤	104,350	98,912	5,437	5.5	1.6	1.5
16	漢方製剤	101,061	98,364	2,696	2.7	1.6	1.5
17	総合感冒剤	98,533	92,890	5,643	6.1	1.5	1.4
18	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	97,918	96,776	1,142	1.2	1.5	1.5
19	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	90,165	77,818	12,347	15.9	1.4	1.2
20	生化学的検査用試薬	87,819	86,133	1,686	2.0	1.4	1.3
21	たん白アミノ酸製剤	87,681	86,427	1,254	1.5	1.4	1.3
22	その他の中枢神経系用薬	85,253	50,157	35,096	70.0	1.3	0.8
23	不整脈用剤	78,299	90,815	-12,517	-13.8	1.2	1.4
24	その他の腫瘍用薬	76,945	56,245	20,700	36.8	1.2	0.9
25	催眠鎮静剤、抗不安剤	75,982	74,343	1,639	2.2	1.2	1.1
26	合成抗菌剤	74,653	77,075	-2,422	-3.1	1.2	1.2
27	免疫血清学的検査用試薬	73,139	67,864	5,275	7.8	1.1	1.0
28	その他の化学療法剤	72,250	70,287	1,963	2.8	1.1	1.1
29	血液代用剤	68,517	70,860	-2,342	-3.3	1.1	1.1
30	その他の滋養強壮薬	67,080	68,265	-1,185	-1.7	1.0	1.0
31	その他の消化器官用薬	67,057	63,141	3,916	6.2	1.0	1.0
32	総合代謝性製剤	65,931	70,166	-4,235	-6.0	1.0	1.1
33	代謝拮抗剤	65,769	72,775	-7,006	-9.6	1.0	1.1
34	混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	61,954	65,390	-3,436	-5.3	1.0	1.0
35	ビタミンB剤（ビタミンB ₁ 剤を除く。）	58,498	58,186	312	0.5	0.9	0.9
36	気管支拡張剤	57,923	51,444	6,479	12.6	0.9	0.8
37	X線造影剤	57,732	59,071	-1,339	-2.3	0.9	0.9
38	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	56,644	54,202	2,442	4.5	0.9	0.8
39	ビタミンA及びD剤	56,409	60,749	-4,340	-7.1	0.9	0.9
40	外皮用殺菌消毒剤	45,815	54,576	-8,761	-16.1	0.7	0.8
41	その他の生物学的製剤	43,611	49,308	-5,697	-11.6	0.7	0.8
42	抗ウイルス剤	38,291	18,588	19,702	106.0	0.6	0.3
43	去痰剤	38,223	41,294	-3,071	-7.4	0.6	0.6
44	下剤、浣腸剤	37,023	38,819	-1,796	-4.6	0.6	0.6
45	抗バーキンソン剤	34,674	35,524	-850	-2.4	0.5	0.5
46	放射性医薬品	34,267	34,505	-239	-0.7	0.5	0.5
47	耳鼻科用剤	33,184	37,254	-4,070	-10.9	0.5	0.6
48	人工腎臓透析用剤	32,380	31,188	1,192	3.8	0.5	0.5
49	複合胃腸剤	32,243	35,471	-3,229	-9.1	0.5	0.5
50	寄生性皮ふ疾患用剤	32,005	34,249	-2,245	-6.6	0.5	0.5
51	ワクチン類	31,496	28,600	2,895	10.1	0.5	0.4
52	止しゃ剤、整腸剤	27,681	27,331	350	1.3	0.4	0.4
53	強心剤	27,452	40,056	-12,604	-31.5	0.4	0.6
54	痛風治療剤	25,760	23,916	1,844	7.7	0.4	0.4
55	酵素製剤	25,328	26,768	-1,441	-5.4	0.4	0.4
56	あへんアルカロイド系麻薬	25,244	23,504	1,740	7.4	0.4	0.4
57	鎮けい剤	25,173	27,019	-1,846	-6.8	0.4	0.4
58	血液凝固阻止剤	25,114	21,018	4,096	19.5	0.4	0.3

(注) 医薬品薬効中分類の順位は、平成14年の生産金額の順位によるものであり、生産金額が250億円以上のものである。

第4表 医薬品主要薬効

	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	生産金額	指 数								
	百万円	%								
総 数	5,695,068	100.0	5,750,322	101.0	6,168,062	108.3	6,100,046	107.1	6,147,833	108.0
循環器官用薬	884,945	15.5	942,355	16.4	1,012,840	16.4	1,010,241	16.6	1,022,232	16.6
中枢神経系用薬	551,075	9.7	565,004	9.8	578,039	9.4	561,584	9.2	577,467	9.4
その他の代謝性医薬品	521,799	9.2	554,656	9.6	592,267	9.6	597,756	9.8	586,627	9.5
消化器官用薬	503,412	8.8	522,577	9.1	551,219	8.9	553,731	9.1	569,747	9.3
抗生物質製剤	444,048	7.8	386,639	6.7	451,477	7.3	394,150	6.5	433,475	7.1
外皮用薬	316,218	5.6	316,011	5.5	325,110	5.3	348,636	5.7	349,355	5.7
血液・体液用薬	217,163	3.8	235,314	4.1	263,013	4.3	254,060	4.2	268,192	4.4
生物学的製剤	302,387	5.3	260,176	4.5	233,225	3.8	244,608	4.0	226,088	3.7
ビタミン剤	214,866	3.8	220,315	3.8	230,113	3.7	227,131	3.7	227,234	3.7
アレルギー用薬	165,972	2.9	156,549	2.7	185,764	3.0	169,437	2.8	177,565	2.9
その他	1,573,182	27.6	1,590,727	27.7	1,744,994	28.3	1,738,712	28.5	1,709,853	27.8

(注) 医薬品薬効大分類別の順位は、平成14年の生産金額の順による。

総額の指數は平成5年を100とした指數であり、薬効分類別の比率は当該年における構成割合である。

大分類別生産金額の推移

(指数 平成5年=100)

平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
生産 金額	指 数								
百万円	%								
5,842,096	102.6	6,290,023	110.4	6,182,631	108.6	6,504,318	114.2	6,489,278	113.9
985,125	16.9	1,098,054	17.5	1,122,613	18.2	1,243,763	19.1	1,234,320	19.0
506,611	8.7	529,874	8.4	527,575	8.5	551,394	8.5	592,072	9.1
550,873	9.4	546,758	8.7	513,752	8.3	557,644	8.6	589,341	9.1
500,930	8.6	520,680	8.3	530,385	8.6	560,796	8.6	555,792	8.6
402,483	6.9	437,812	7.0	373,949	6.0	410,413	6.3	369,764	5.7
401,557	6.9	451,658	7.2	379,900	6.1	376,230	5.8	360,797	5.6
277,701	4.8	307,523	4.9	342,957	5.5	301,339	4.6	295,740	4.6
235,427	4.0	256,486	4.1	250,712	4.1	255,401	3.9	254,679	3.9
229,017	3.9	226,536	3.6	217,382	3.5	243,395	3.7	229,776	3.5
152,539	2.6	182,180	2.9	187,530	3.0	250,342	3.8	220,340	3.4
1,599,833	27.4	1,732,462	27.5	1,735,875	28.1	1,753,601	27.0	1,786,659	27.5